



唱団とジョイントコンサートをすることが決定しました。市民合唱団では、コンサートの外、二泊三日のホームステイを通じて友好親善に努める予定です。都留市とへ

### 姉妹都市を訪問して

(社)都留青年会議所理事長 佐野 竜一

二度目のヘンダーソンビル市への訪問を果たしてきました。「第一回ちびっこ海外使節団」として二十七名の子ども達と一緒に訪れて以来、八年ぶりの訪問でした。車窓を横切る美しい街並みや、遠くの牧場でのんびり草を食んでいる馬や牛を眺めていると、八年前の懐かしい思い出や、印象深い体験が鮮やかによみがえってきます。

今回、私を含む五名のJCメンバーが公式訪問団に参加させていただきましたが、JCとしての主な目的はヘンダーソンビルJCとの交流と、一九九七年に実施しようとしている「第三回ちびっこ海外使節団」派遣について友好委員会と打ち合わせです。どちらの会議においてもヘンダーソンビルの人達のホスピタリティーが反映され、素晴らしい成果が得られました。

ところで、両市の交流で欠くことのできないものが「ホームステイ」です。ホームステイの素晴らしさは、お互いの街の生活を体験できることです。今回、私が泊めていただいたジョンソンさんの家庭でも、彼等の息子さんや娘さんの家族と食事をしたり、日曜日の教会で、多くの友人を紹介していただいたりしましたが、自分の生活のペースを崩さないでいてくれたので、私も大変リラックスできました。これからも都留市やヘンダーソンビル市で、より多くの人達が数日間のホームステイを楽しめることを期待します。最後に色々ご尽力いただいた都倉市長様、両市の友好委員会の皆様、そして、ポプ・ジョンソン夫妻とヘンダーソンビル市の皆様に感謝申し上げます。

また、都留青年会議所も、平成九年八月に、結成三十周年を記念して、三回目となる『ちびっこ使節団』の派遣を約束しました。十名から二十名ほどの子どもたちがヘンダーソンビル市を訪れることになりました。

桂高等学校では、これまでの姉妹校交流をより推進し、教師の派遣や長期の留學生の交換など積極的な話し合いがもたれました。

今回の訪問団に参加した文化協会松川始会長は、現地でヘンダーソンビル文化協会の代表と懇談、両市の文化交流を一層活発にすることで同意しました。前述した合唱団の派遣のほか、写真の交換から着手し、次第に絵画や陶芸などの文化交流に発展させていこうと話がまとまりました。また、ヘンダーソンビルでは、国際俳句が一種のブームで、ぜひ日本から手本になるような作品を送っていただけないかと要請もありました。

ヘンダーソンビル市が市政を施行したのは一九六八年のことです。市制施行当時二万三千だった人口も、現在では三万四千にふくれあがり、ナッシュビルのベッドタウンとして急速な発展を続けています。アメリカというと、治安の面で心配と思われる方も多いと思いますが、ヘンダーソンビル市は犯罪とは無縁の街です。教育施設、病院など、その住環境に今、全米から熱い視線が寄せられています。最近では、次々と大型店がたち

始め、経済の発展が目に見える勢いです。また、市は周囲約二十六マイルにも及ぶオールドヒッコリー湖という人工湖に面し、週末になると各地からアウトドアスポーツをもとめる観光客で賑わいます。

ヘンダーソンビル市は、ナッシュビルで活躍するジョニーキャッシュを始め、カントリーミュージックのスターの自宅が数多くあります。まさにカントリーミュージックの街でもあります。今回の訪問の中で、来年完成予定の都留市文化ホール「うぐいすホール」で、ヘンダーソンビル在住のミュージシャンによる、カントリーミュージックのコンサートを開催してもらいたいと要請したところ、ヘンダーソンビル市側から「ぜひ、実現するように協力したい」と快諾を得ました。

本場のカントリーミュージックが都留市で聞けることになりそうです。これまで都留市は、ヘンダーソンビル市と数々の人的交流を中心に進めてきました。今後もこれに加え、文化面、教育面を始め、幅広い分野の交流を推進して行く方針です。しかし、いままでもなくこうした交流は、両市の市民一人ひとりのつながりが友情の絆を深める礎であることは間違いありません。

平成九年十月にはヘンダーソンビル市から公式訪問団が都留市を訪れる予定です。ひとつの交流がまた新たな友情の輪を広げることでしょう。